

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業「市民の学習成果の発表の場提供事業」

「古代史の謎を探る～卑弥呼から倭の五王へ～」を開催しました

平成23年11月6日、講師に浅井 能延さんをお迎えして、「古代史の謎を探る～卑弥呼から倭の五王へ～」の講座を開催し、多くの受講生にご参加いただきました。

浅井さんは香川大学の丹羽教授の「香川の古代の謎を探る会」に入り、15年間毎月県下の遺跡を巡り、年に1度は県外の遺跡を訪れ、更には韓国にまで旅をしてきました。



邪馬台国の所在地についてさまざまな論争がありますが、浅井さんは、文献・遺跡・遺跡から出土した遺物・金石文をもとに邪馬台国九州説の持論を展開されました。

講座の中では、浅井さんが実際に訪れた遺跡や古墳等の貴重な写真とエピソードもご披露いただき、受講生のみなさんは、興味深く聞き入っていました。

講座終了後は質問の時間もあり、熱心な歴史ファンの質問にも丁寧に答えておられました。

深く勉強すればするほど諸説があり、古代史は永遠に謎なのかもしれませんが、歴史愛好家たちのロマンは尽きないようです。



